



附近見取図

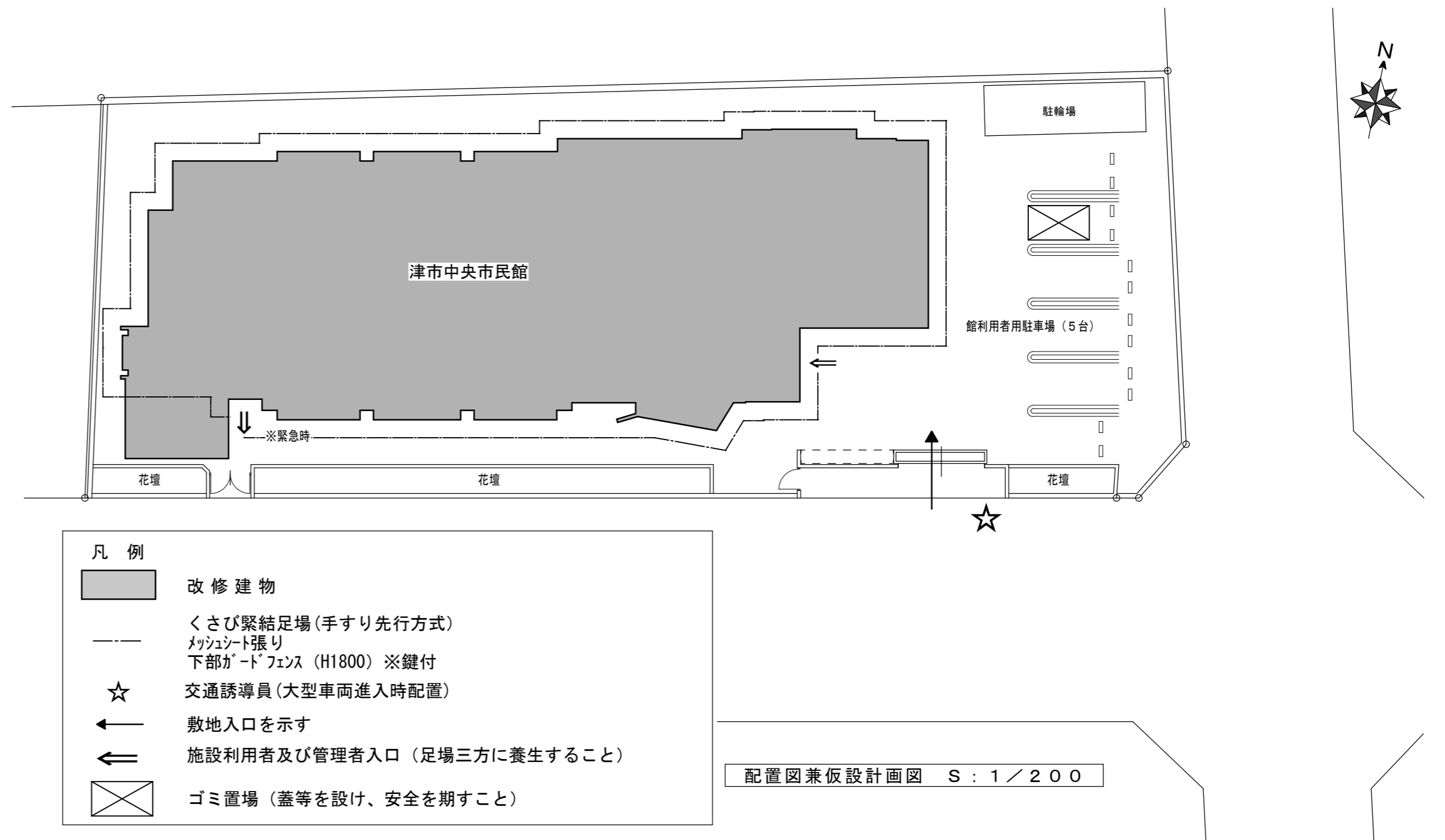
＝ 特記事項 ＝

【工事概要】

工事場所：津市愛宕町地内  
 工事内容：施設名称 津市中央市民館  
 構造 鉄筋コンクリート造 3階建  
 延面積 977.05㎡  
 工事項目 防水改修工事

【施工条件】

- ・ 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書等を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。
- ・ 作業着手までの施設内調査は、事前に施設管理者及び市監督員の承諾を得るものとし、施設運営に影響を与えない範囲とする。
- ・ 工事車両の出入りについては、施設利用者等の安全確保に十分配慮すること。
- ・ 工事中の安全計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。
- ・ 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。
- ・ 特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着手する事とし又、周辺住民からの苦情があった時は、工事を一時中断し、誠意をもって地元調整を行い、工事の再開は市監督員の承認を得てから行うこと。
- ・ 工事期間中、現場内入場者、近隣関係者へ危害を与えないよう注意し、かつ周辺道路等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。
- ・ 大型車両進入時には誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全確保に配慮すること。
- ・ 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。
- ・ 工事用水、電力については施設内既存の施設を無償で利用できる。ただし、施設運営に影響しないように事前に打ち合わせのうえ計画し、施工すること。
- ・ 工事着手前には、現状状況把握の為に破損箇所があれば、市監督員の立ち会いのもと写真に記録しておくこと。また、工事過程において、既存施設に損害を与えた場合は、請負者の負担において、速やかに復旧すると共に、市監督員に報告すること。
- ・ 設計書に明記なくとも、機能上及び構造上当然必要と認められるものは本工事に含む。  
 なお、内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。
- ・ 構内に大型車両(クレーン等)を必要とする作業および、利用者に支障をきたす作業は、土曜日、日曜日、祝日に行うこと。  
 また、11月3日に催し物があるため、翌日以降の現場着手とする。
- ・ 仮設便所は設置不可とする。構内既存施設を利用すること。
- ・ 場内入場は8：30以降に行い、退場は清掃片付けを終えた上で17：00までに退場すること。



- 凡例
- 改修建物
  - ぐさび緊結足場(手すり先行方式) マッシュボード張り 下部ガードフェンス(H1800)※鍵付
  - ☆ 交通誘導員(大型車両進入時配置)
  - ← 敷地入口を示す
  - ⇐ 施設利用者及び管理者入口(足場三方に養生すること)
  - ⊠ ゴミ置場(蓋等を設け、安全を期すこと)

配置図兼仮設計画図 S : 1 / 200

【適応基準】

- ・ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書」(建築工事編 最新版)
- ・ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」(建築工事編 最新版)
- ・ その他関係法令

【外部足場】

- ・ 足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン(最新版)」により、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等の基準」による働きやすい安心感のある足場とし、改善措置機材による場合は手すり先行専用足場型と同等の機能を確保するものとする。なお、同足場は、二段手すりと巾木の機能を有する部材をあらかじめ備えられた手すり先行足場型とするか、または、改善措置機材を用いて手すり先行専用足場型と同等の機能を確保するものとする。

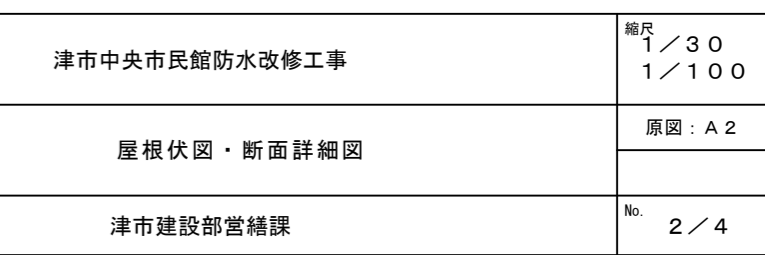
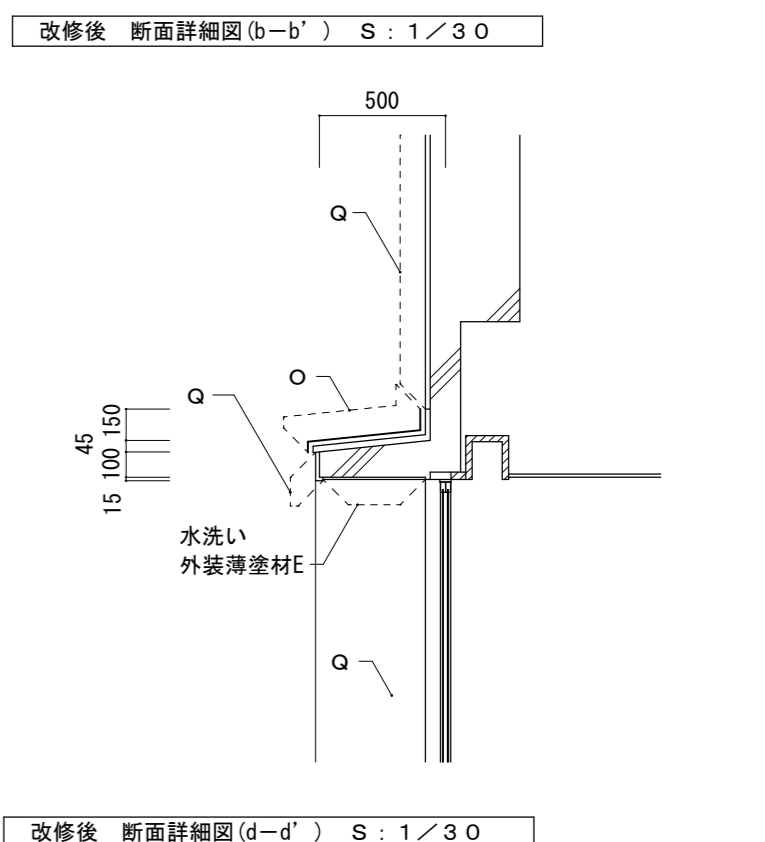
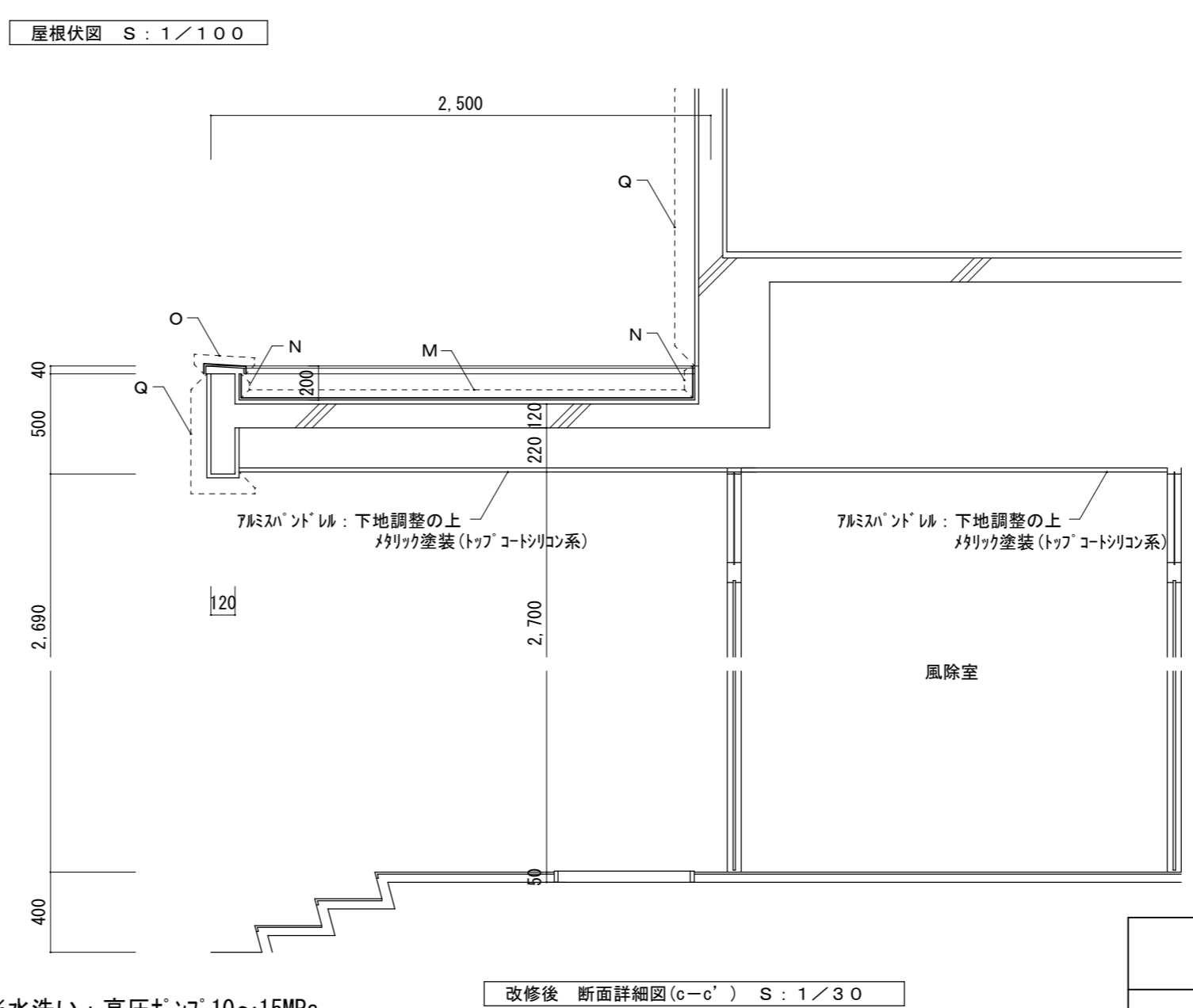
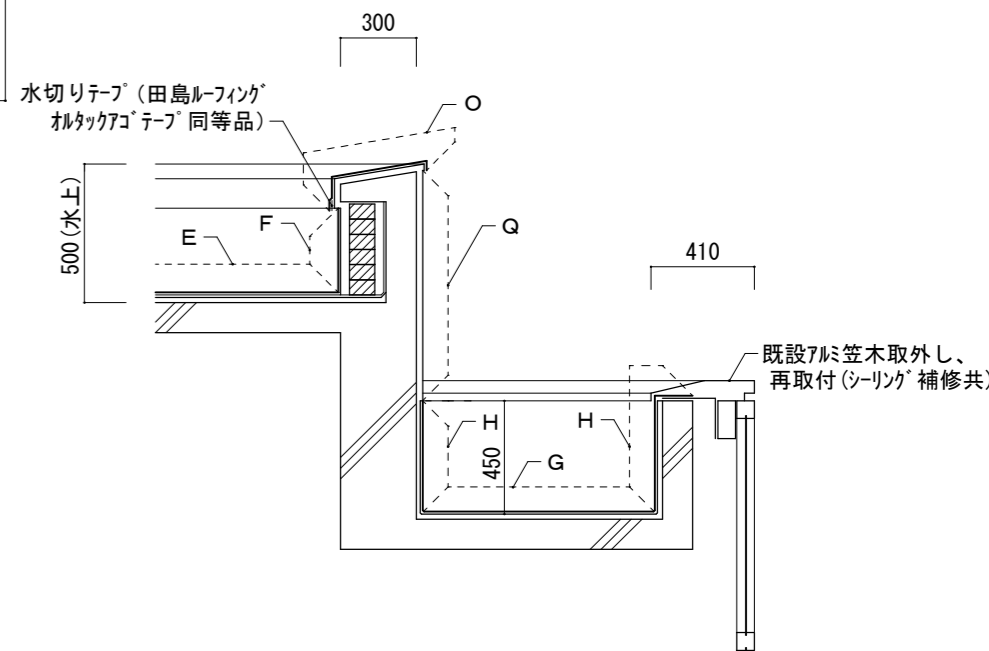
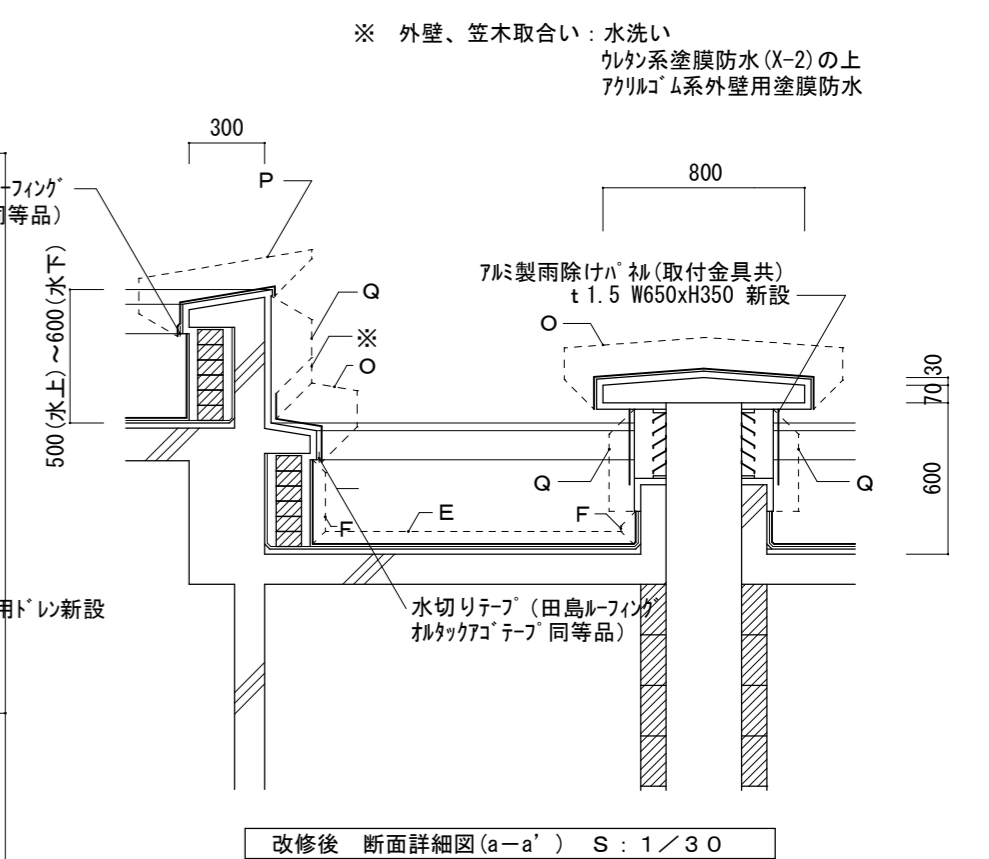
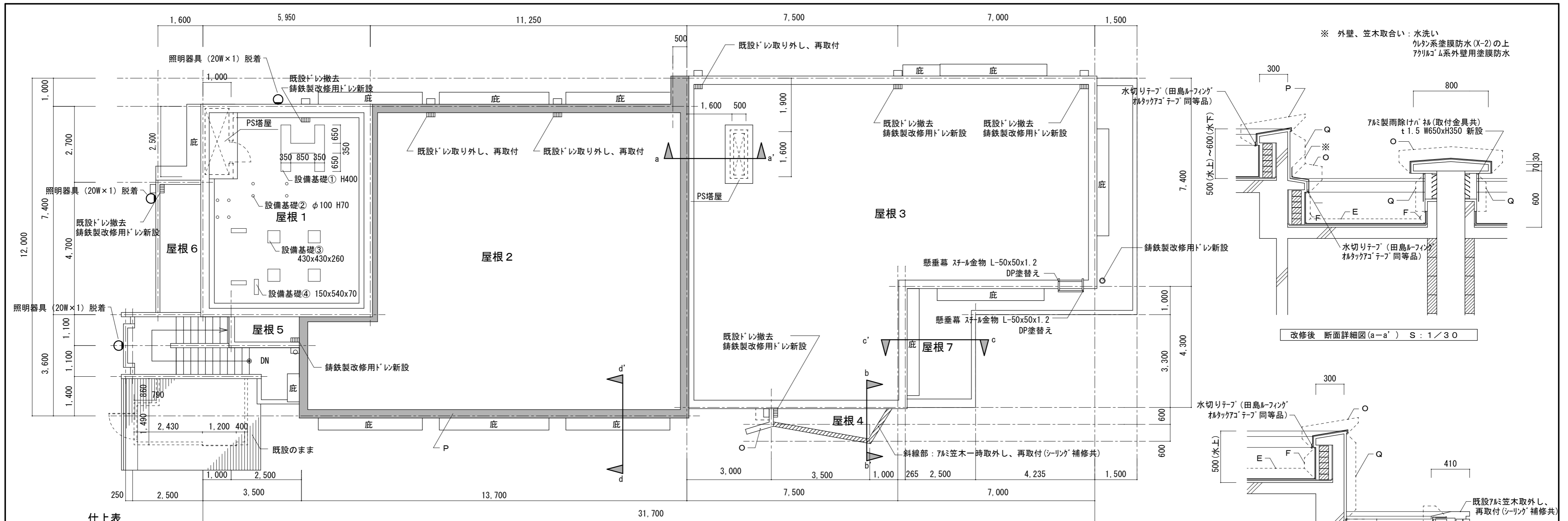
【解体撤去処分】

- ・ 本工事により発生する廃材は、産業廃棄物となるため関係法令により適切に処理すること。また、工事着手前に、施工方法を記した施工計画書を市監督員に提出し承諾を得ること。
- ・ 工事完了後、マニフェスト(A、B2、D票)を市監督員に提示すること。また、近隣に対し騒音・振動・粉塵等を配慮した施工を行うこと。

【防水保証】(屋根・外壁)

- ・ 保証書(請負人、材料製造所、防水施工者の連帯保証)は各2部提出すること。
- ・ 屋根防水保証年数は10年とすること。
- ・ 外壁防水保証年数は5年とすること。

津市中央市民館防水改修工事		縮尺 1/200
図面名称	附近見取図・配置図兼仮設計画図	原因：A2
津市建設部営繕課		No. 1/4

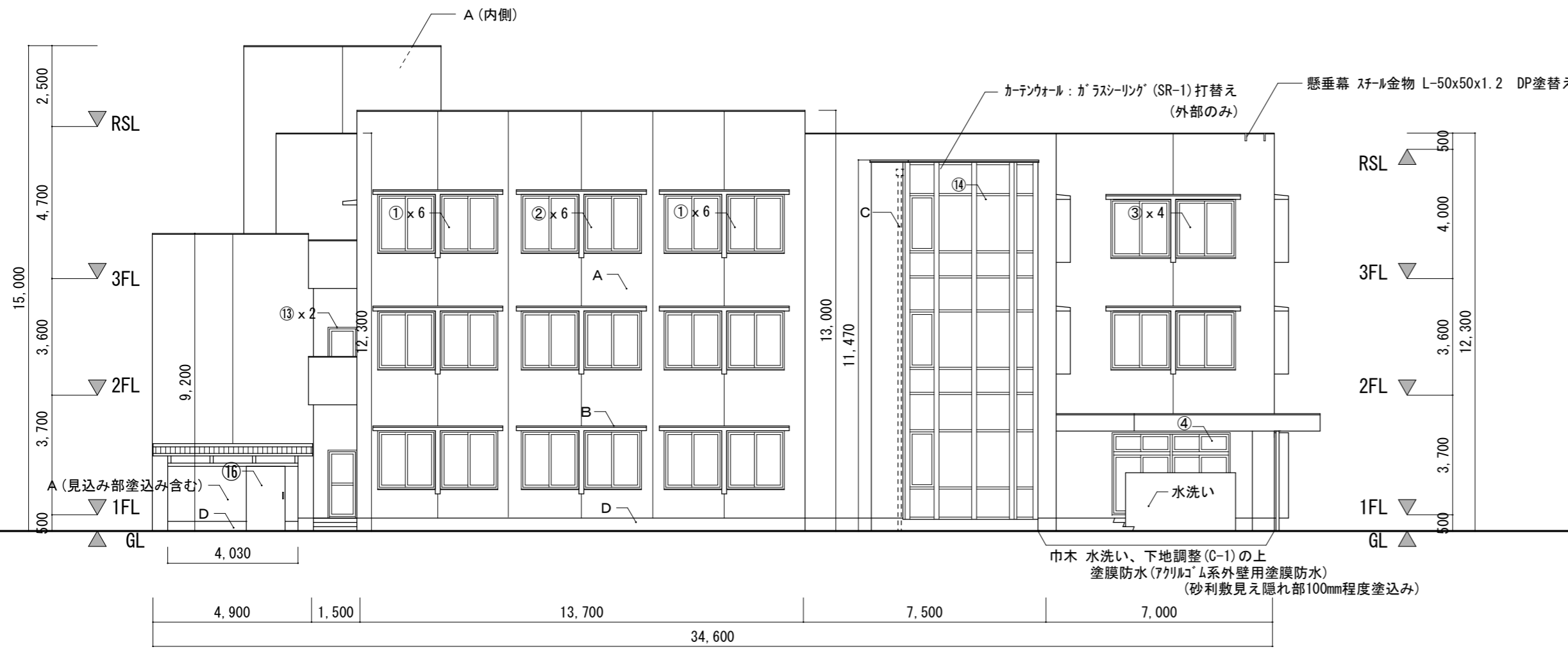


仕上表

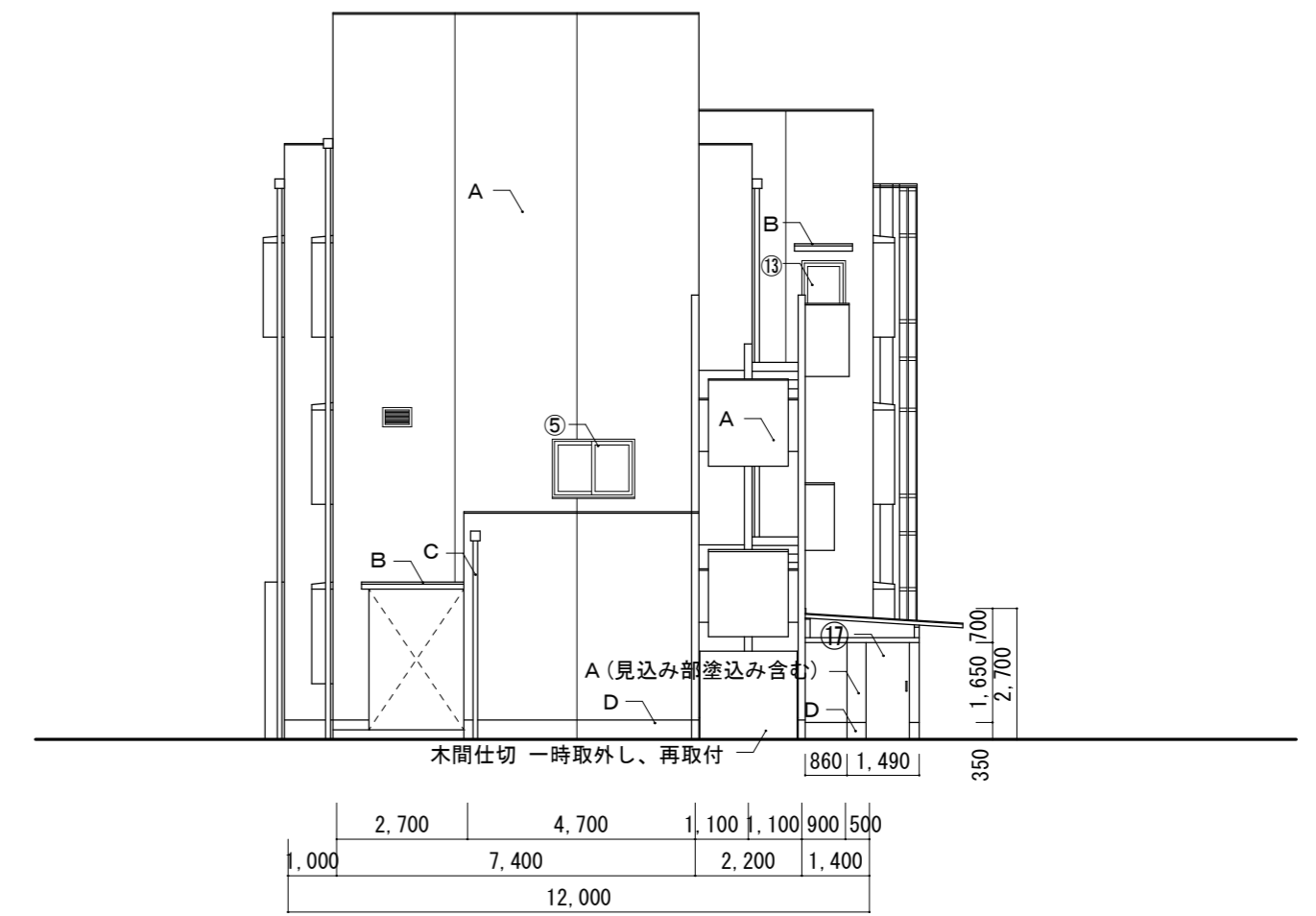
記号	部位	改修前	改修後
A	屋根1 平場	珉カ下地 塗膜防水 【浮き、剥がれ部 ケン除去】	水洗い、除去部下地調整(樹脂珉カ)の上 ウレタン系塗膜防水(X-1)
B	屋根1 立上り	珉カ 積み珉カ押えの上 塗膜防水	水洗いの上 ウレタン系塗膜防水(X-2)
C	屋根2 平場	珉カ下地 塗膜防水 【浮き、剥がれ部 ケン除去】	水洗い、除去部下地調整(樹脂珉カ)の上 ウレタン系塗膜防水(X-1)
D	屋根2 立上り	珉カ 積み珉カ押えの上 塗膜防水	水洗いの上 ウレタン系塗膜防水(X-2)
E	屋根3 平場	珉カ下地 塗膜防水 【浮き、剥がれ部 ケン除去】	水洗い、除去部下地調整(樹脂珉カ)の上 ウレタン系塗膜防水(X-1)
F	屋根3 立上り	珉カ 積み珉カ押えの上 塗膜防水	水洗いの上 ウレタン系塗膜防水(X-2)
G	屋根4 平場	珉カ下地 シート防水 【仕上げ撤去】	水洗い、下地調整(樹脂珉カ)の上 ウレタン系塗膜防水(X-2)
H	屋根4 立上り	珉カ下地 シート防水 【仕上げ撤去】	水洗い、下地調整(樹脂珉カ)の上 ウレタン系塗膜防水(X-2)
I	屋根5 平場	珉カ下地 塗膜防水 【仕上げ撤去】	水洗い、下地調整(樹脂珉カ)の上 ウレタン系塗膜防水(X-2)
J	屋根5 立上り	珉カ下地 塗膜防水 【仕上げ撤去】	水洗い、下地調整(樹脂珉カ)の上 ウレタン系塗膜防水(X-2)
K	屋根6 平場	防水珉カ金コ仕上げ	水洗い、下地調整(樹脂珉カ)の上 ウレタン系塗膜防水(X-2)
L	屋根6 立上り	防水珉カ金コ仕上げ	水洗い、下地調整(樹脂珉カ)の上 ウレタン系塗膜防水(X-2)
M	屋根7 平場	防水珉カ金コ仕上げ	水洗い、下地調整(樹脂珉カ)の上 ウレタン系塗膜防水(X-2)
N	屋根7 立上り	防水珉カ金コ仕上げ	水洗い、下地調整(樹脂珉カ)の上 ウレタン系塗膜防水(X-2)
O	庇、PS塔屋、 笠木(塗潰部以外)	防水珉カ金コ仕上げ	水洗い、下地調整(樹脂珉カ)の上 ウレタン系塗膜防水(X-2)
P	笠木(塗潰部)	防水珉カ金コ仕上げの上 塗膜防水	水洗いの上 ウレタン系塗膜防水(トップコート塗り)
Q	外壁	珉カ刷毛引 アクリル系リシン吹付	水洗い、下地調整(C-1)の上 塗膜防水(アクリル系外壁用塗膜防水)
R	設備基礎①~④	コンクリート基礎 塗膜防水	水洗いの上 ウレタン系塗膜防水(X-2)

※水洗い：高圧ホップ 10~15MPa  
 ※屋根1~3平場 ウレタン系塗膜防水(X-1)には脱気筒(SUS製)を設けること。  
 ※屋根1~3笠木 水切りテープ (田島ルフィン® 珉カタカゴテープ® 同等品) を設けること。

津市中央市民館防水改修工事		縮尺 1/30 1/100
図面名称	屋根伏図・断面詳細図	原因：A2
津市建設部管轄課		No. 2/4



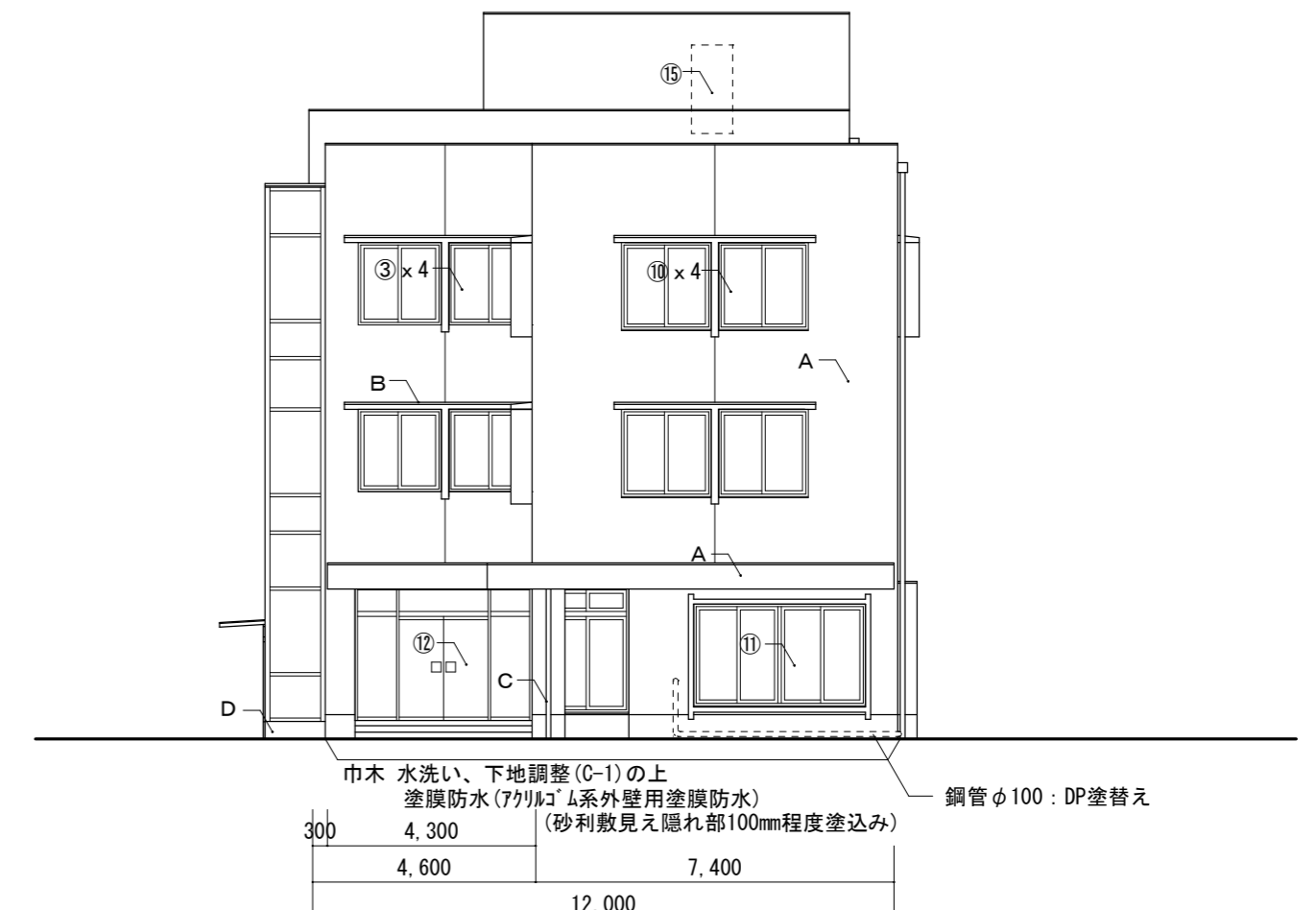
南立面図 S : 1 / 150



西立面図 S : 1 / 150



北立面図 S : 1 / 150



東立面図 S : 1 / 150

建具表

記号	内法寸法	か所				記号	内法寸法	か所			
		南	西	北	東			南	西	北	東
①	W1,700xH1,700	12		11		⑩	W1,720xH1,700				4
②	W1,800xH1,700	6		6		⑪	W3,450xH2,000				1
③	W1,800xH1,700	4		2	4	⑫	W3,550xH2,690				1
④	W3,470xH2,440	1				⑬	W800xH2,000	2	1		
⑤	W1,600xH1,100		1			⑭	W3,510xH11,110 W1,375xH11,110	1			
⑥	W1,800xH1,100			2		⑮	W860x1,830				1
⑦	W600xH1,200			9		⑯	W1,200x2,000	1			
⑧	W800xH855			1		⑰	W900x2,000		1		
⑨	W1,800xH900			3							

仕上表

記号	部位	改修前	改修後
A	外壁	珪藻土刷毛引 アクリル系リシン吹付	水洗い、下地調整 (C-1) の上 塗膜防水 (アクリル系外壁用塗膜防水)
B	庇	上面: 防水珪藻土金付仕上げ	水洗い、下地調整 (樹脂珪藻土) の上 珪藻土系塗膜防水 (X-2)
		側面: コンクリート打放しの上 アクリル系リシン吹付	水洗い、下地調整 (C-1) の上 塗膜防水 (アクリル系外壁用塗膜防水)
C	縦樋	下面: コンクリート打放しの上 アクリル系リシン吹付	水洗い、下地調整 (C-1) の上 外装薄塗材E
		VP φ100 OP 集水器共 【撤去】	カーVP φ100+SUS挿み金物@900 かざり樹 250x300 共
D	巾木	珪藻土金付仕上げ H400	水洗い
E	軒天	アルミパントリー	下地調整の上 メタリック塗装 (トップコートシリコン系)

※水洗い: 高圧ポンプ 10~15MPa

躯体ひび割れ改修方法  
・Uカット材充填工法 (1mm以上)

躯体浮きの改修方法  
・アンカーボルト部分 樹脂注入工法 (16本/m<sup>2</sup>、25ml/穴)

躯体欠損、爆裂の改修方法  
・鉄筋防錆の上、樹脂珪藻土充填  
※施工前調査を全面行い、監督員と協議の上、施工数量を定める

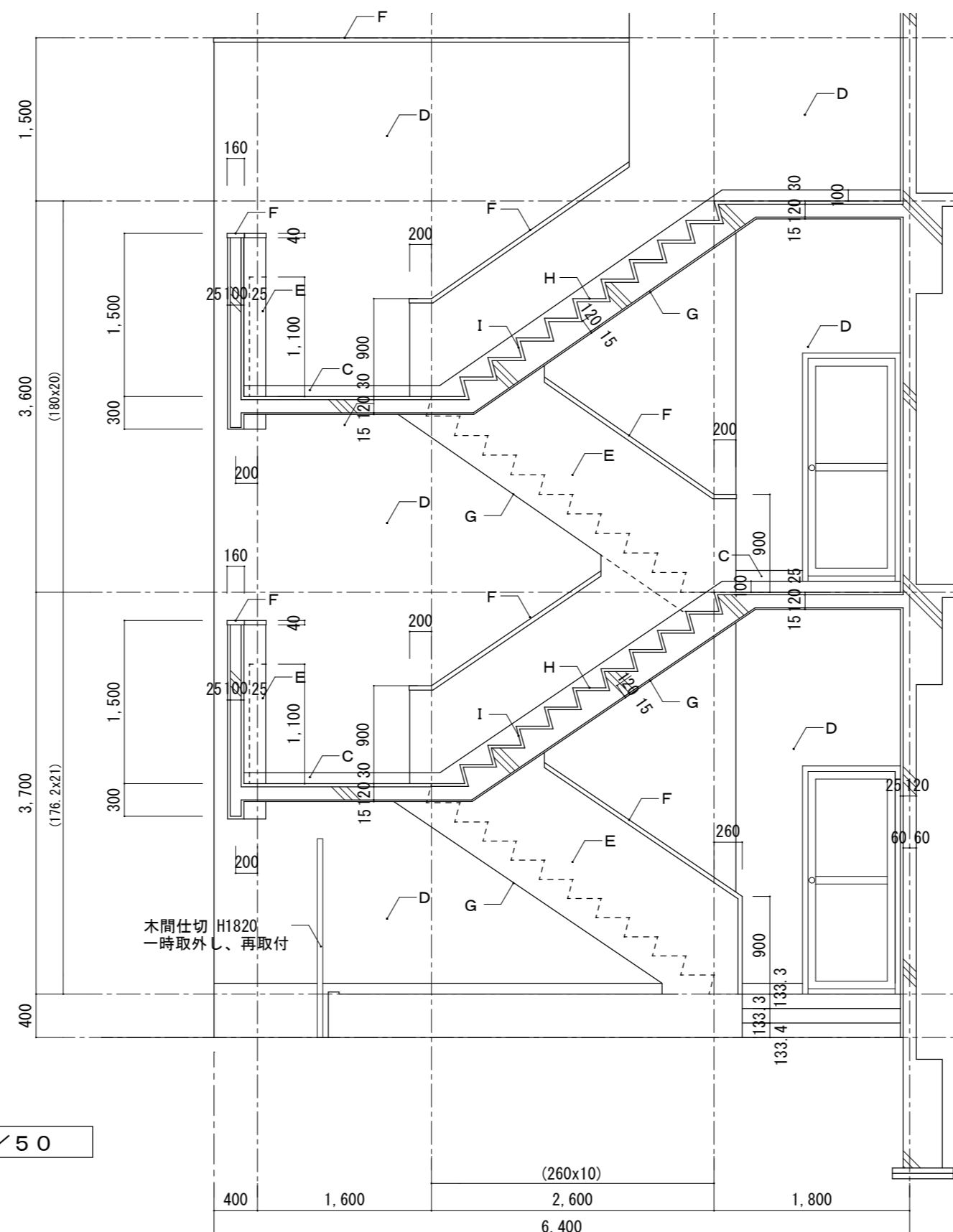
津市中央市民館防水改修工事		縮尺 1 / 150
図面名称	立面図	原因: A 2
津市建設部管轄課		No. 3 / 4

※サッシ廻りおよび、水切下端のシリング (MS-2) 打替えとし、⑭は、外部のみガラスシリング (SR-1) 打替え

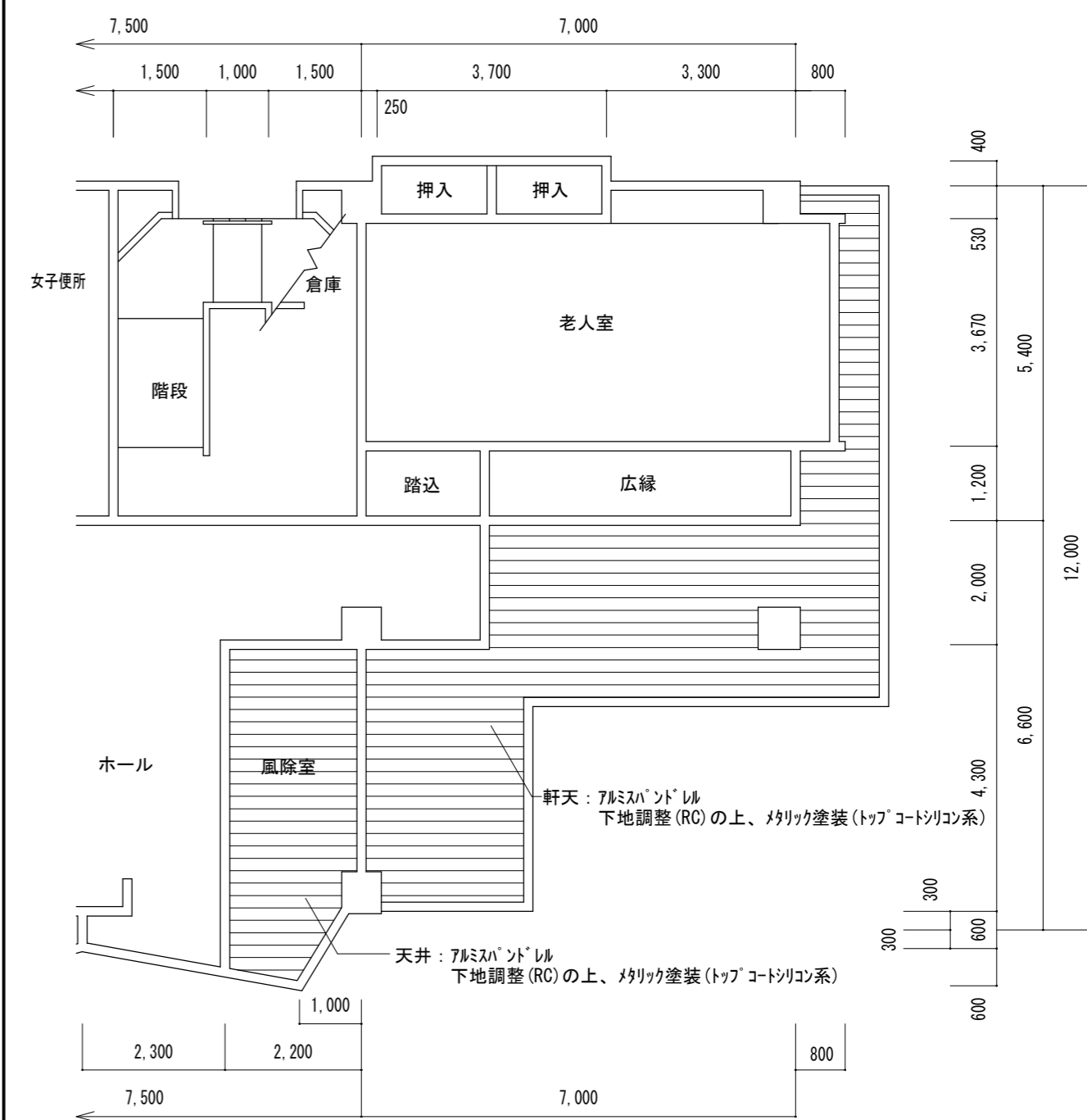
仕上表

記号	部位	改修前	改修後
A	踊場	防水モルタル金コ仕上げ	水洗い、下地調整(樹脂モルタル)の上 ウレタン系塗膜防水(X-2) 防滑仕様
B	段鼻	ノンスリップタイル モルタル下地	水洗い、ウレタン系塗膜防水(X-2)の上 ノンスリップ金具(SUS製 ゴム入り) L800
C	巾木	防水モルタル金コ仕上げ	水洗いの上 ウレタン系塗膜防水(X-2)
D	壁	モルタル刷毛引 アクリル系リシン吹付	水洗い、下地調整(C-1)の上 塗膜防水(アクリル系外壁用塗膜防水)
E	袖壁	モルタル刷毛引 アクリル系リシン吹付	水洗い、下地調整(C-1)の上 塗膜防水(アクリル系外壁用塗膜防水)
F	笠木	防水モルタル金コ仕上げ	水洗い、下地調整(樹脂モルタル)の上 ウレタン系塗膜防水(X-2)
G	段裏	モルタル刷毛引 アクリル系リシン吹付	水洗い、下地調整(C-1)の上 外装薄塗材E
H	踏面	防水モルタル金コ仕上げ	水洗いの上 ウレタン系塗膜防水(X-2) 防滑仕様
I	蹴上	防水モルタル金コ仕上げ	水洗いの上 ウレタン系塗膜防水(X-2)

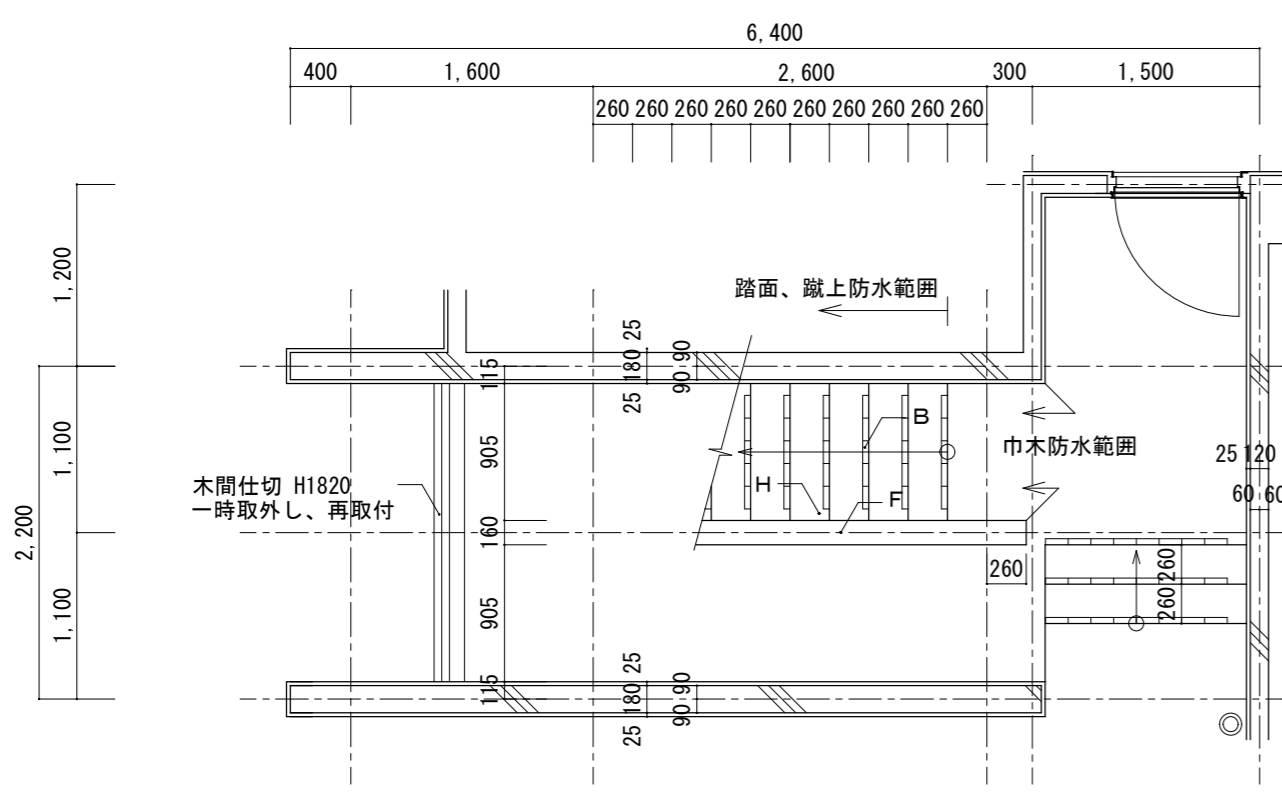
※水洗い：高圧ホース 10~15MPa



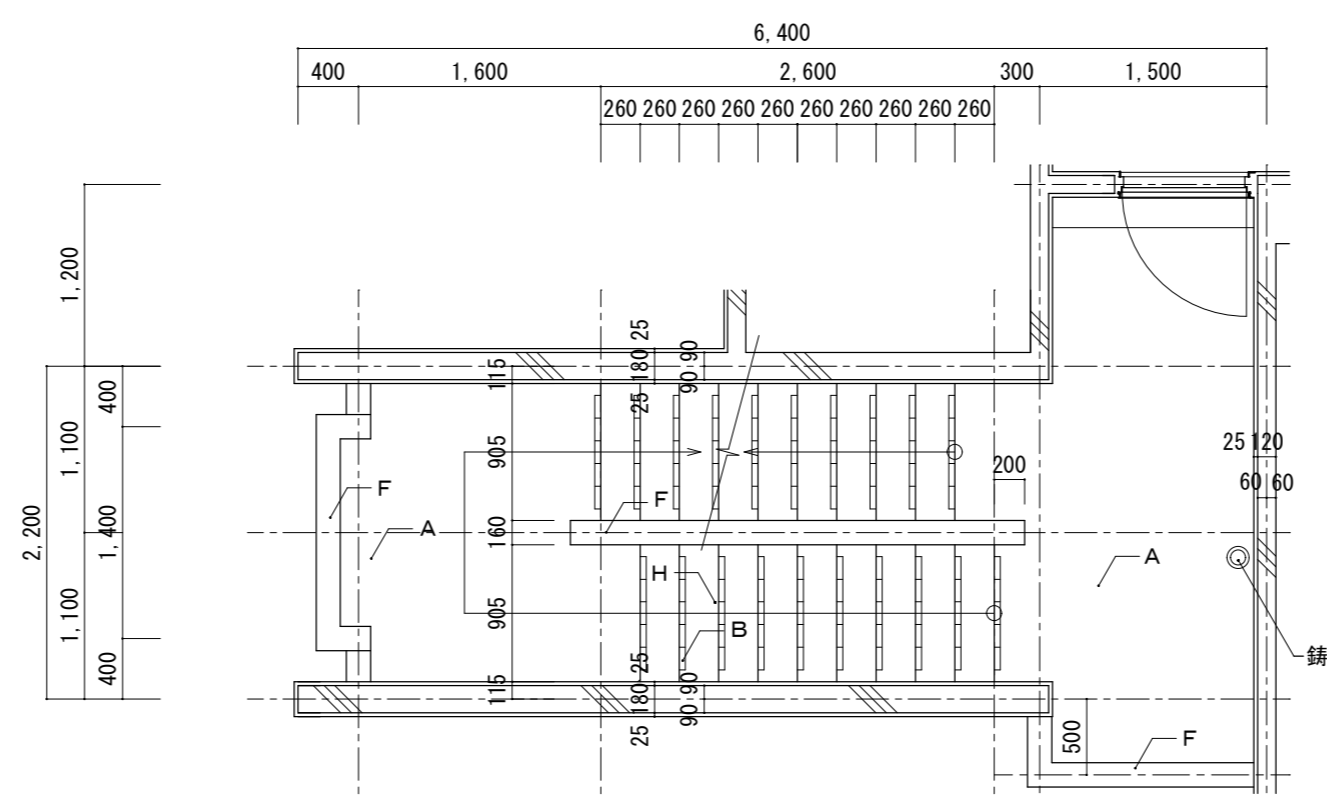
屋外階段 断面詳細図 S : 1 / 50



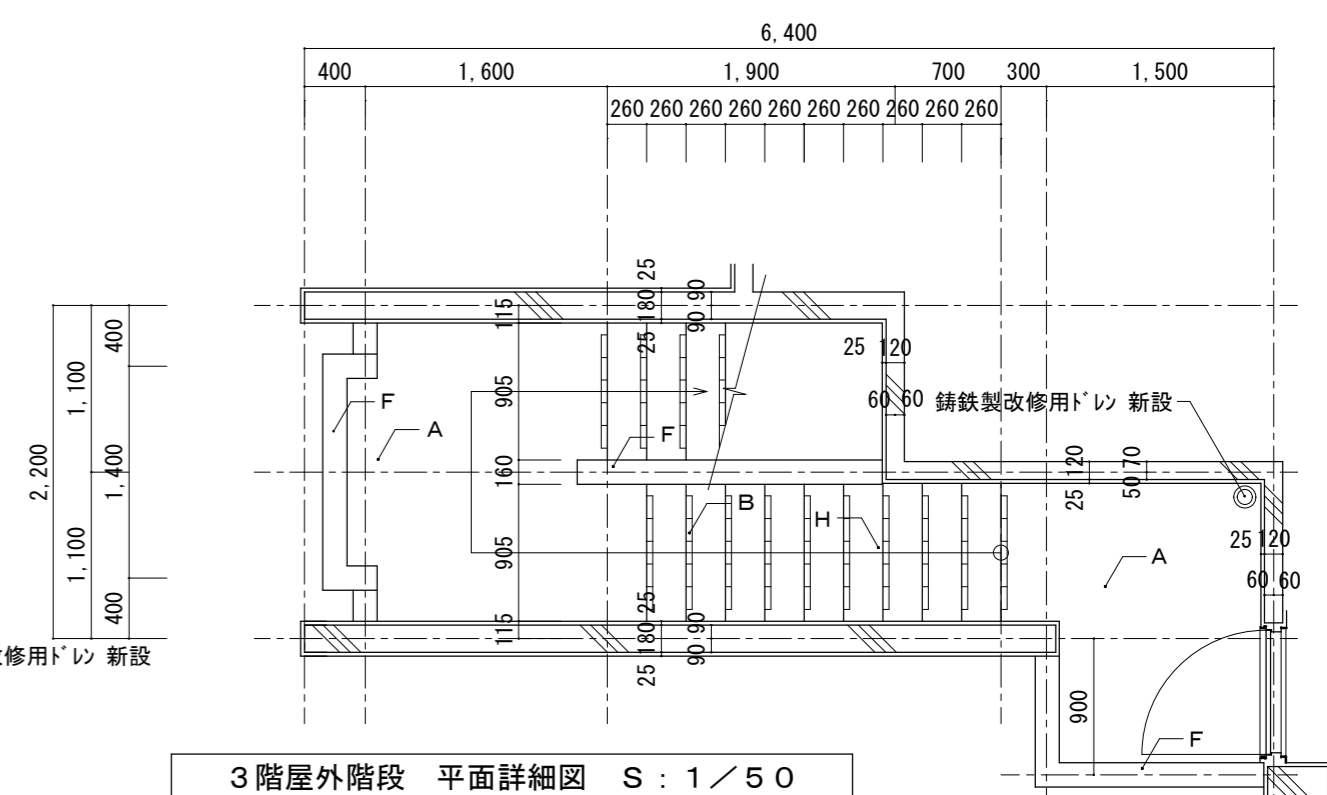
1階天井伏図 S : 1 / 100



1階屋外階段 平面詳細図 S : 1 / 50



2階屋外階段 平面詳細図 S : 1 / 50



3階屋外階段 平面詳細図 S : 1 / 50

津市中央市民館防水改修工事		縮尺 1/50 1/100
図面名称	屋外階段平面詳細図・1階天井伏図	原因：A2
津市建設部管轄課		No. 4/4